

推定原因は小歯車軸受の कोरो の保持器の破損！

会社は、4月22日のプレス発表で、ひかり515号の事故調査の結果と歯車箱破損に至る状況の推定原因、今後の対策などを公表しました。

調査結果

- ・歯車箱において既発表の破損（大歯車側）の他に、小歯車側にも破損が認められ、また、小歯車軸受や継手等にも傷が認められました。

推定原因

- ・小歯車軸受の कोरो を保持する部品（保持器）が破損したことで、軸受の कोरो が脱落しました。
- ・歯車箱の大歯車側の破損については、脱落した कोरो が歯車箱のすき間に入り込み、大歯車に噛み込んで、破損に至ったものと思われます。
- ・小歯車側の破損については、小歯車軸受の保持器が破損したことにより、小歯車が振れ回り、歯車箱と接触したことで、破損に至ったと思われます。
- ・各部品の取付状態、潤滑油の状況、及び検査記録表の内容により、当社のメンテナンス過程には問題ないことを確認しており、当該保持器本体側に欠陥があったものと思われます。この保持器の破損原因については、製造メーカーで引き続き調査しています。

今後の対策

- ・同一ロットの小歯車軸受については、良好なものに取替を進めて参ります。なお、取替までの間、小歯車軸受の健全性を確認するため、歯車箱の磁気栓検査と油分析を行い、同種事象の発生を未然に防止します。

破損部品と同一ロットのものは今すぐ取替えろ！

全社員の皆さん！！

会社の対策をどう思われますか。同一ロットの小歯車軸受の取替は、健全性を確認しながら行うとしていますが、今にも破損する寸前で本線を270キロで走行している列車があるかもしれませんし、明日にも同種の事故が発生するかもしれません。そんな悠長なことを言われる状況ではありません。同様の事故が発生したら会社はどう責任を取るのでしょうか。

私たち修繕車両所分会は、同種の事故を発生させないためにも、

同一ロットの小歯車軸受を今すぐ取替えることを求めます。